

# 資料編

## 1. アンケート

本計画を作成するにあたり、歴史文化資源の保存・活用に関わる民間団体の現状や課題を分析するため、アンケートを実施した。以下に回答の集計、分析結果を掲載する。

【実施時期】2023(令和5)年7月～8月

【実施対象】歴史文化資源に関する取組を行っている90の民間団体

【回収率】76%(69団体)

当てはまる項目を☑して回答してください

Q1 活動団体の人数について

1～15人 15～29人 30～49人 50人以上

Q2 Q1について設立時もしくは20年前と比較した人数について

増えている ほぼかわらない 減っている

Q3 現在の会員等の平均年齢について

30歳未満 30代 40代 50代 60代 70歳以上

Q4 現在の団体の活動内容について(複数回答可)

練習会 公開・発表 解説・案内 講座 研修  
企画展 除草・清掃などの管理活動 その他( )

Q5 前質問で回答した現在の団体の活動日数について

年間( )日程度

Q6 Q4について設立時もしくは20年前と比較した活動日数について

増えている かわらない 減っている

Q7 団体における後継者の育成について

進んでいる どちらかというに進んでいる  
どちらかというに進んでいない 進んでいない

後継者の育成について、具体的に取り組んでいることがありましたら回答してください

Q 8 今後の活動の見通しについて

- 今後は活動を広げていく                       今後も今まで同様の活動を行う  
 今後は活動を縮小していく                       今後は活動を休止する  
 活動を休止しているが再開したい                       活動を休止しており再開する予定もない

Q 9 貴団体が関わる歴史文化資源の保存・活用における課題として感じていることについて  
(回答は上位3つまで)

- 知識や情報がない                       説明, 案内する人材が不足している  
 技術指導者が不足している                       使用する用具が足りない                       練習日が取れない  
 会員等の高齢化                       後継者不足                       会員等の減少  
 技術の継承                       公開する場がない                       財政的に厳しい  
 用具の保管場所に防犯・防災上心配がある                       交流の場がない  
 用具をまとめて保管する施設がない                       情報発信ができない  
 その他 (                      )

上記で☑した課題について, より詳しく記載できる場合は回答してください

Q 10 活動する上で市に支援してもらいたいことは何ですか (回答は上位3つまで)

- 研修の支援                       新規加入者の募集案内の告知  
 活動への補助金の拡充                       ホームページやSNSなどによる情報発信  
 活動指導者育成の支援                       活動の記録保存  
 他団体との交流の場                       相談窓口の設置・案内  
 その他 (                      )

上記で☑した支援してもらいたいことについて, より詳しく記載できる場合は回答してください

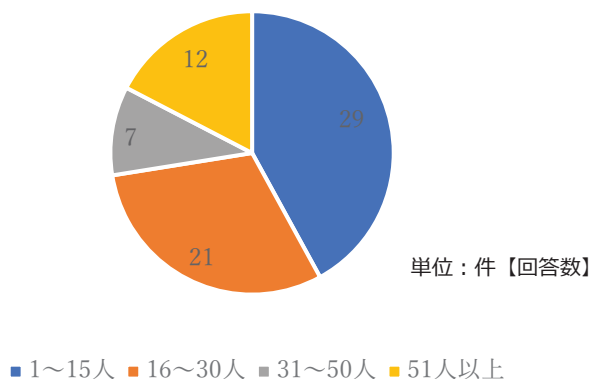
Q 11 市全体の歴史文化資源の保存・活用のために必要だと思うことは何ですか (回答は上位3つまで)

- 歴史文化資源の情報が地域で共有されている                       研修機会の充実  
 小・中学校と連携                       活動や発表の場の確保                       用具をまとめて保管できる施設  
 出前講座の回数の増加                       ホームページやSNSなどを通じた情報発信  
 伝統文化にふれる機会の増加                       修理や維持管理のための経費が確保されている  
 見学者がガイドや案内板などで歴史文化資源について知る仕組みがある。  
 防犯・防災体制が整っている                       記録映像の作成・公開                       団体間の交流  
 その他 (                      )

上記で☑した必要だと思うことについて, より詳しく記載できる場合は回答してください

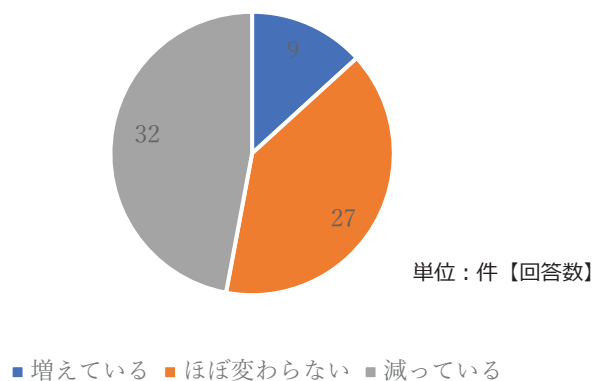
### Q 1 活動団体の人数について

「1～15 人」「16～30 人」で 71%を占めており、比較的少人数での活動を行っている団体が多い。



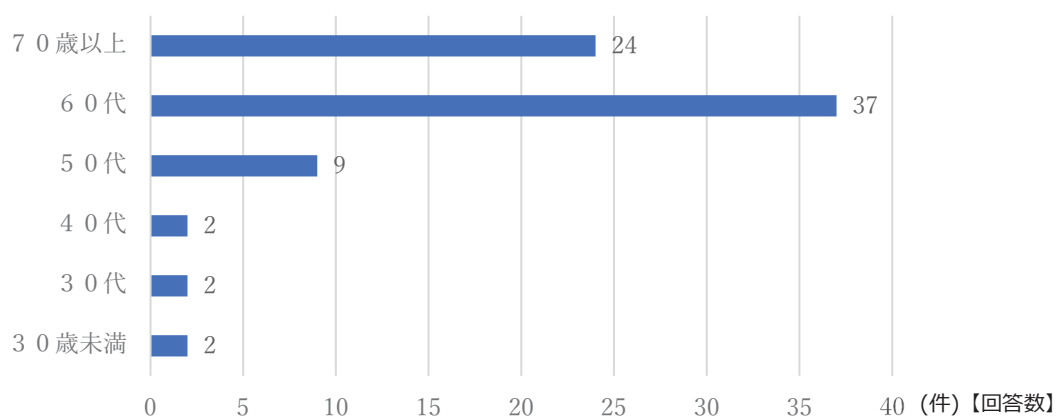
### Q 2 Q 1 について設立時もしくは 20 年前と比較した人数について

「ほぼ変わらない」「減っている」で 88%を占めており、設立時もしくは 20 年前と比較して活動団体の人数は減少傾向にある。



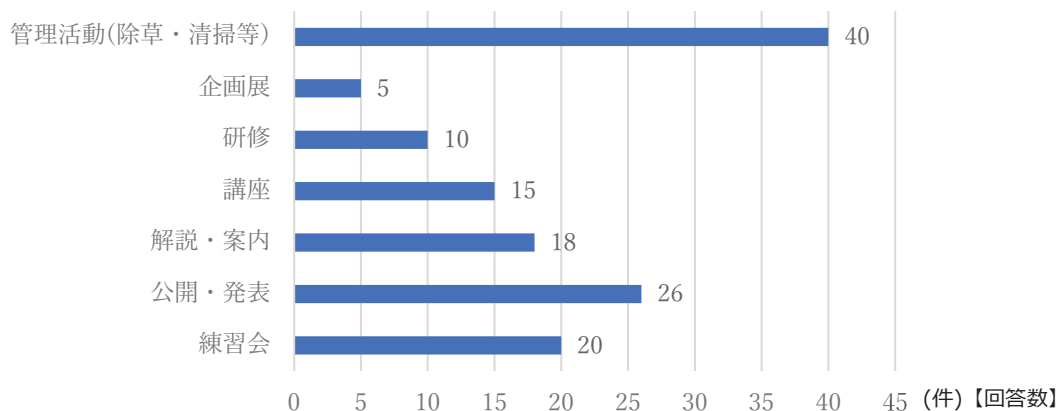
### Q 3 現在の会員等の平均年齢について

「60 代」、次いで「70 歳以上」が最も多く、会員等の高齢化が進んでいる。(複数回答有り)



#### Q 4 現在の団体の活動内容について（複数回答可）

複数回答での「管理活動」が最も多く、歴史文化資源の管理を行いながら、「解説・案内」や「公開・発表」、「発表会」等の他の活動も行っている。

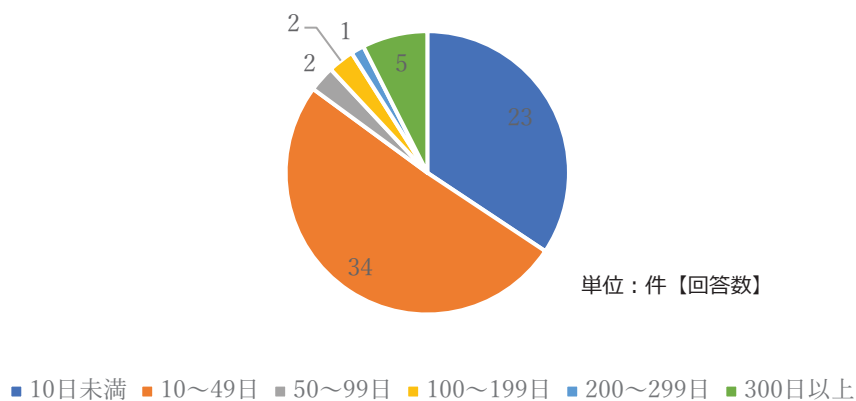


#### ■上記以外の活動（自由記述）

団体名	活動
石那田八坂神社天王祭保存会	神事(下遷宮・灯明当番・上遷宮)
白沢南自治会屋台保存会	屋台巡行
本郷睦会神功皇后山車保存会	年に1度は虫干しを兼ねた点検と修理。
和久天棚保存会	組み立て費用の積み立て
鬼怒川クロコムラサキ愛護会	クロコムラサキ自然観察会
塙田睦会	伝統行事
悟理道自治会自治会	悟理道祭り
ぞうり・アミ	イベント参加
小野崎太鼓店	リースの太鼓を貸出して体験学習の協力
中徳次郎屋台囃子会屋台囃子会屋台囃子会屋台囃子会	地祭，宮祭参加
新清流東谷囃子会	町内祭禮宝まつり他
民話語り 双葉の会	社会福祉ボランティア
一般社団法人うつのみやシティガイド協会	企画，イベント参加

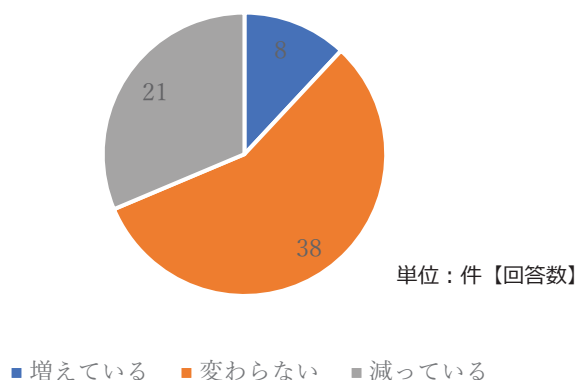
### Q 5 前質問で回答した現在の団体の年間活動日数について

10日未満(平均して月に1回未満)の団体で34%を占めている一方,50日以上(平均して週に1回以上)の団体で20%を占めており,活動が活発な団体とそうでない団体とで大きな差がある。



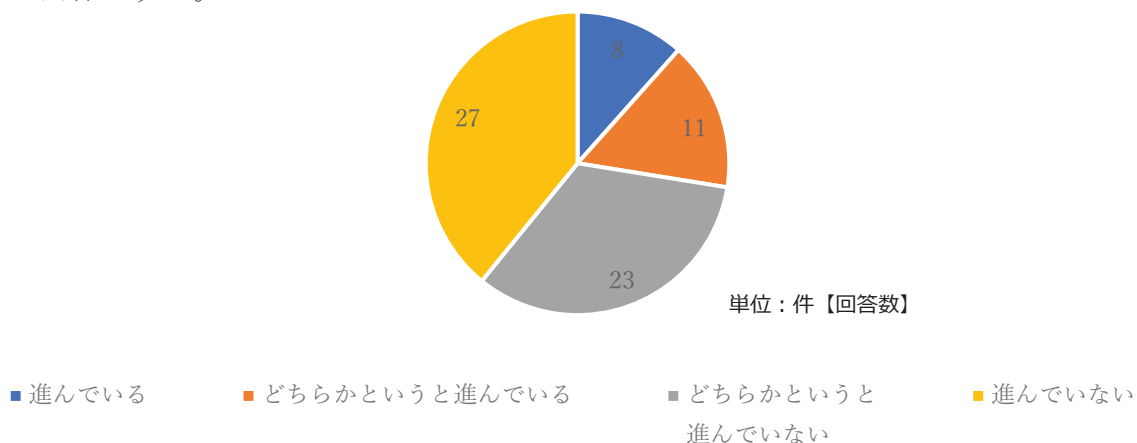
### Q 6 Q 4について設立時もしくは20年前と比較した活動日数について

「変わらない」「減っている」で89%を占めており,設立時もしくは20年前と比較して活動日数は減少傾向にある。



### Q 7 団体における後継者の育成について

「どちらかというに進んでいない」「進んでいない」で74%を占めており,後継者の育成に苦慮している団体が多い。

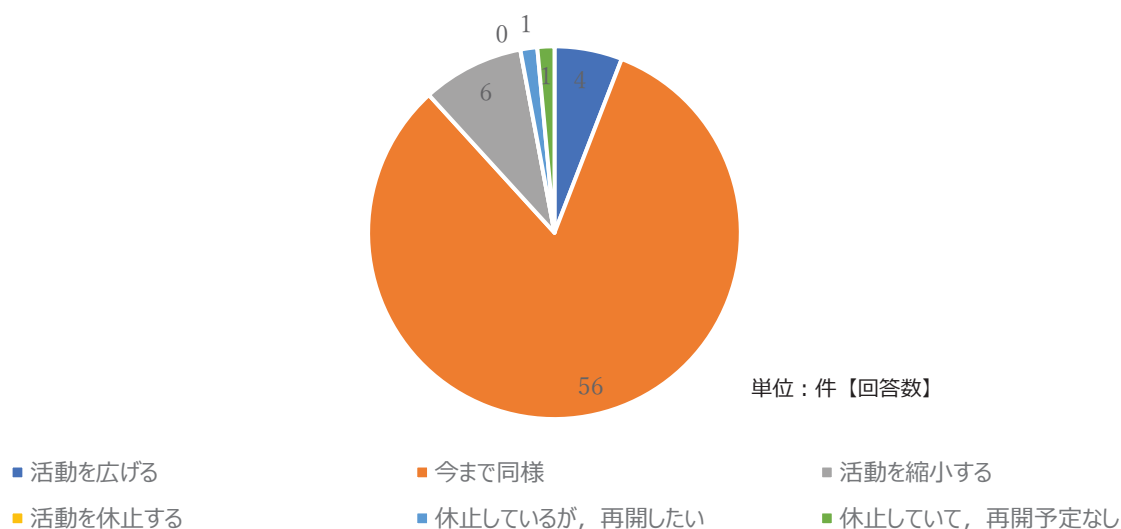


後継者の育成について、具体的に取り組んでいることがありましたら回答してください（自由記述）

分類	主な意見
学校教育	・練習会を通して、関心ある子供たち多数に囃子を教えている。
普及啓発	・会員募集パンフレットの配付やホームページでの活動紹介を行っている。 ・団体加入への文章を配布している。 ・文化都市推進課と連携して、文化財解説ボランティア養成講座を実施し、新規会員の募集を行っている。
勧誘	・若年層を勧誘している。 ・保存会の必要性を説明し、コミュニケーションを図っている。 ・時間がかかるが、継続的に自治会に話をかけている。
他団体との連携	・若衆の会と連携して人数確保と若返りを図っている。
活動方法の検討	・デジタル化による若返りを図っている。
会員等へのフォロー	・獅子舞の笛には音符(楽譜)がなく、指導者の指の動きを見て覚えるしかないため、笛を中心に毎月の練習を行っている。 ・演舞の指導用映像資料を作成している。 ・屋台引き回しの時に集まり、育成している。 ・シフト職で、一堂に会して研修を行う機会がないため、連絡引継ノートや情報共有ノートを用いたり、職場共有のグループ SNS を用いたりして共通理解を進めている。 ・経験の浅い会員には、横のつながりを広げるため、年 2 回程度の自主臨検や城址公園案内の当番日の弾力化を図っている。 ・養成講座、フォローアップ講座、下見を兼ねての実習、研修会等を実施している。

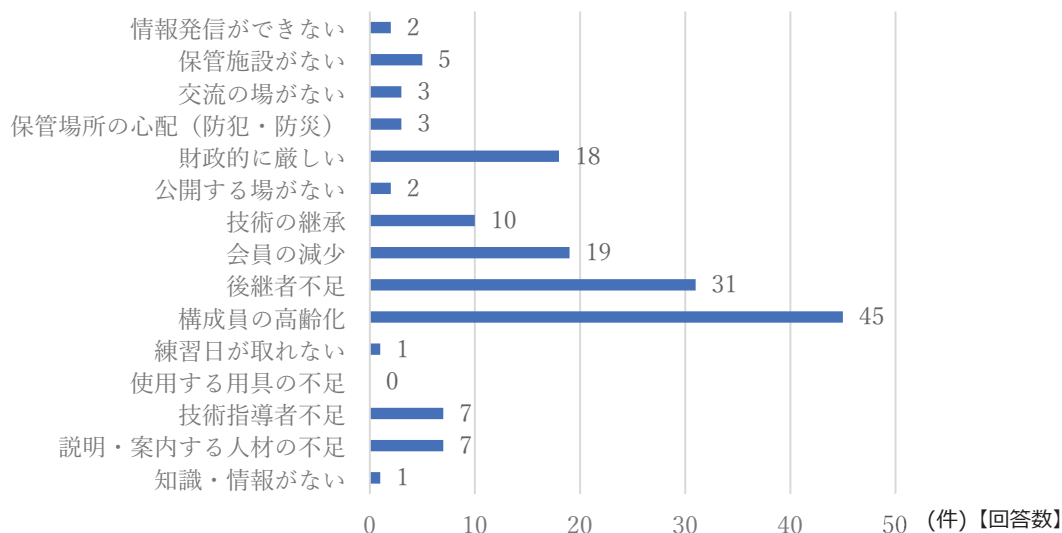
#### Q 8 今後の活動の見通しについて

「今まで同様」で 82% を占めており、現在の活動を維持していくことを望んでいる団体が多い。



### Q9 貴団体に関わる歴史文化資源の保存・活用における課題として感じていることについて

「会員等の高齢化」、次いで「後継者不足」、「会員等の減少」、「財政的に厳しい」が最も多く、現在の活動を維持していくための人材や財源の確保が課題であると感じている団体が多い。



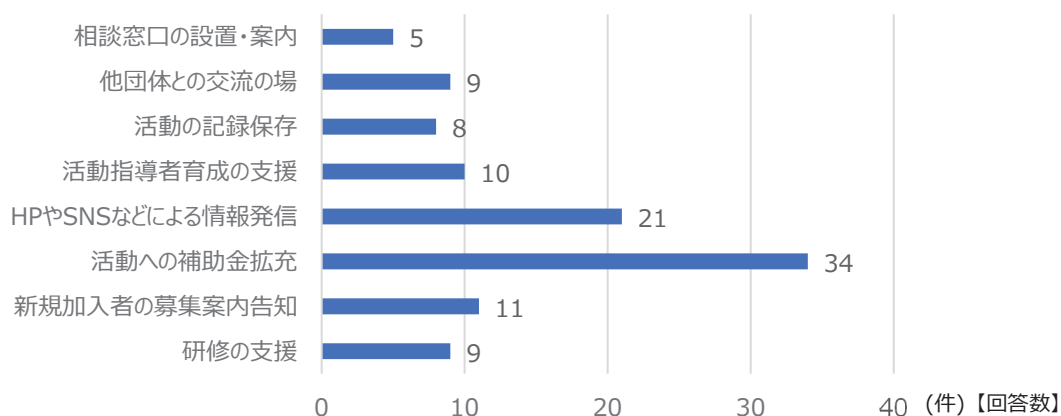
上記で☑した課題について、より詳しく記載できる場合は回答してください（自由記述）

分類	主な意見
保管施設の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・178 年前に建造され、市の文化財に指定されている屋台を解体して保管しているが、痛んできており、後世に残すために山車小屋が欲しい。</li> <li>・区画整理のため、山車の収蔵庫が造れない。</li> <li>・天棚の収蔵庫や建設に伴う資金がない。</li> <li>・収蔵庫等の老朽化が目立ち始めており、修繕が大きな課題となっている。</li> <li>・現在は公民館で保管している神輿の保管場所を検討している。</li> <li>・バックヤード（収蔵庫）が近くにない。</li> </ul>
交流の場の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話を受ける、プリントを作成する等、独自の活動スペース(事務所)が欲しい。</li> </ul>
財源の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の協力者が不足しており、地元分担金(寄付金)を集めるのに苦労している。</li> <li>・活動に関する用具・備品等が多く、老朽化や修理に多額の費用が掛かる。地域の寄付金、会費による活動団体のため、住人・お店等の減少によって財源が不足している。</li> </ul>
会員等の減少 後継者不足 会員等の高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人の安定した運営のために、より多くの財源が欲しいが、会員を増やすことが難しい。</li> <li>・若者の興味が年々薄れているように感じるが、高齢者だけでなく、若者や子供たちが興味を持てる場を作り、入会に繋げたい。</li> <li>・名前のみ登録している会員が増え、活動に参加していない。</li> <li>・歴史ある団体だが、コロナで会員が減少している。</li> <li>・配偶者の病気や高齢化等で会員が減少している。</li> <li>・会員の高齢化に伴い、人手、後継者が不足している。</li> <li>・会員の減少と少子高齢化が進み、次世代への引継ぎが難しくなっている。</li> </ul>

分類	主な意見
会員等の減少 後継者不足 会員等の高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の高齢化の進行や新規会員の加入の難しさが課題であり、活動に苦慮している。</li> <li>・会員の高齢化とともに、その家の跡取りも関わることに関心がない。</li> <li>・会員の高齢化により、自動車免許の返納が多く、交通手段が難しくなり、団体の解散を考えている。</li> <li>・会員が高齢化しており、活動日が猛暑のため、健康に不安を感じて参加者が少ない。</li> <li>・高齢化・人口減少により、昨今は担い手不足が問題であり、技術継承が難しい。</li> <li>・地域住民の高齢化や人口減少に対応できていない。</li> <li>・会員の年齢も60代となり、また町全体の人口減少も進み後継者不足となっている。一つの町だけで存続できなくなった場合の方向性が課題である。</li> </ul>
用具の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の天然記念物であるトウキョウサンショウウオは、天敵であるアメリカザリガニを駆除するため、罟等の支援が必要である。</li> </ul>
技術指導者の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き回しをしたいが、屋台の構造上できないため、屋台修理に関する技術者の確保が必要である。</li> <li>・天棚を組み立てる技術や資金がない。</li> </ul>
知識・情報の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文は掲示してあるが、歴史文化資源に興味を持つ人が少ない。</li> <li>・神輿の知識が不足しているため、説明できる人の育成・確保を目指す。</li> </ul>
保存・活用に必要な施設 や環境の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理にあたって排出される大量の枝葉や草を処分する場所がない。</li> <li>・市の天然記念物であるハッコウトンボは、近年、鶴田沼緑地において個体が確認できない年もあり、環境を整えていく必要がある。</li> </ul>

Q10 活動する上で市に支援してもらいたいことは何ですか（回答は上位3つまで）

「活動への補助金拡充」、次いで「HPやSNSなどによる情報発信」が最も多く、活動を維持していくための財源確保への支援や、より多くの人に活動に興味を持ってもらうための支援が望まれている。



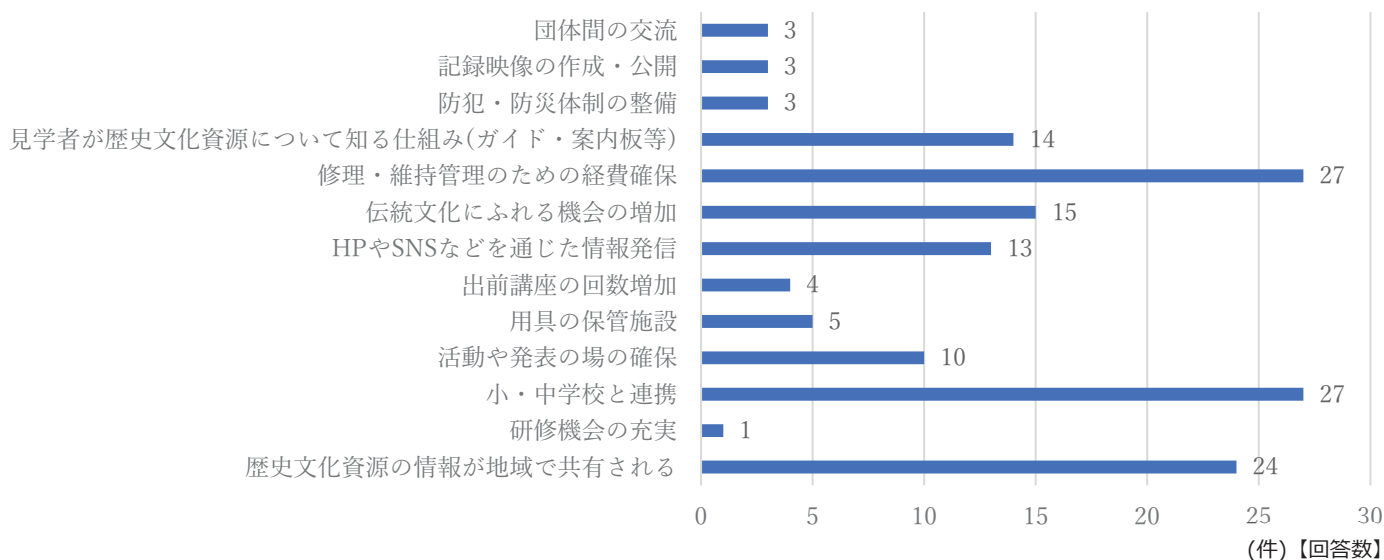


上記で☑した支援してもらいたいことについて、より詳しく記載できる場合は回答してください（自由記述）

分類	主な意見
他団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の文化財を一団体で保存するには限界があり、地域（本市）の文化財として維持、保存できるよう支援を願いたい。</li> <li>・小学校との連携が必要である。</li> <li>・関係各課との調整が必要である。</li> </ul>
活動指導者の補充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の知識が不足しており指導者もいない。</li> </ul>
情報発信・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の HP の地区版を作り、その中に団体の HP を確保し、その維持管理ができるようにして欲しい。</li> <li>・「広報うつのみや」への紹介記事等により、市民への周知をお願いしたい。</li> <li>・新聞に写真付きで記事にしてもらったのは良かった。</li> <li>・会員募集パンフレットの配布や SNS 等を活用した活動内容についての情報発信を行うことで、ボランティア数の増加につなげ、人員の確保に努める。</li> <li>・一般人向けの民話の講座等があれば良い。</li> </ul>
財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獅子舞の衣装やひよつこの衣装が古いため、現在の会員の身長と合わなくなっている。特殊な衣装のため、値段も高額になってしまい、市の支援をお願いしたい。</li> <li>・資金が不足し、天棚が解体したままで劣化が進んでいる。</li> <li>・彫刻屋台の老朽化が著しく進んでおり、補修費が莫大で、1自治体では補修不可能なため、補修できる方法を教示して欲しい。</li> <li>・資材（肥料その他）の値上がりのため、作業が大変である。</li> <li>・保管場所の改築、維持管理に対する補助金を支給して欲しい。</li> <li>・施設の維持管理費の確保が必要である。</li> <li>・老朽化や修理に際し、補助金対象を拡大、拡充して欲しい。</li> <li>・税金、水道代、電気代等の費用について、補助金を幾分でも充当できることを希望する。</li> <li>・高い樹木の剪定を業者をお願いしたい。</li> <li>・以前は当家で藤の剪定作業を行っていたが、高齢化により作業が危険になったため、外注業者に依頼する経費が掛かり、会費では賄えなくなってきた。</li> <li>・ハッチョウトンボが好む環境を整えるためのヨシの根の除去や、アメリカザリガニの駆除にあたり、捕獲するための罠などの物質支援が必要である。</li> <li>・60 歳代でも殆どが働いている現在、民間団体の活動は、ボランティア(無償)という考え方では人が集まらない。</li> </ul>
保管施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天棚の組立、解体保存をしているが、会員の高齢化により困難となっているため、組み立てたままでの保存用建物設置を支援して欲しい。</li> <li>・収蔵庫が必要である。</li> <li>・天棚の設置場所が必要である。</li> </ul>
便益施設の設置・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板や、「豊郷まほろばの道」整備後に設置され放置されているパンフレット置き場等の維持管理が必要である。</li> <li>・来園者より、使いやすい清潔なトイレの要望が多い。</li> </ul>

Q11 市全体の歴史文化資源の保存・活用のために必要だと思うことは何ですか（回答は上位3つまで）

「小・中学校との連携」と「修理・維持管理のための経費確保」が同等に最も多く、次いで「歴史文化資源の情報が地域で共有される」が多いことから、子供達への教育活動等を通して地域全体で歴史文化資源の保存・活用に関する知識や興味が持たれており、人材と財源が確保されている状態が必要だと思われる。



上記で☑した必要だと思うことについて、より詳しく記載できる場合は回答してください（自由記述）

分類	主な意見
経費確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費が確保されており、保管する場所やメンテナンスも確立されていることが必要である。</li> <li>・山車の修理が高額である。</li> <li>・財政も含め、神輿の修理・維持管理などをどうするか検討が必要である。</li> </ul>
情報発信・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内チラシ、ポスター、映像などを作成して、情報発信できる環境を整備したい。</li> <li>・ホームページや SNS などの情報媒体を積極的に活用し、市全体の歴史文化資源に対する若年層の認知度を向上させる。</li> <li>・歴史文化資源の重要性、現状、保存のための情報発信が必要である。江戸五街道に関する案内表示が頗る乏しい。</li> <li>・文化財としての有用性が認識されるための取組が重要である。</li> <li>・市民に対して民間団体の活動に関する情報発信を工夫して行う必要がある。</li> <li>・歴史文化資源の保存・活用とこれを支える後継者育成のために、広く市民に情報公開や、活動内容の紹介といった、広報・広聴活動を展開してもらいたい。</li> <li>・資料館が必要である。</li> </ul>
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子どもたちが、伝統文化にふれることで、地域に愛着を持ち育っていくことが大切だと感じる。</li> <li>・学校教育の中で、地元のことを知ってもらうことが重要であると思う。</li> <li>・小学校への宣伝等が不足しているため、地域の伝説(昔ばなし)等、更に広められれば良いと思う。</li> </ul>

分類	主な意見
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に各民話団体が当番で、栃木県や本市に伝わる伝説等を小学校などに出向いて話す取組が必要である。</li> <li>・地域小学校児童への講義や地区市民センターにおける講座教室への講師派遣などを実施しているが、歴史文化をより市民へ周知するための機会をお願いしたい。</li> </ul>
地域での情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地域の住人に歴史文化資源の存在が知れ渡ることや、次世代の人々が維持・管理活動に参加できるようにすることが必要である。</li> <li>・地域の文化財の歴史・状況等の情報を共有し、連携した活動などを進められればと思う。</li> <li>・日本の重要な歴史の一部であることの認識が必要である。</li> </ul>
連携・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財を活用・利用するためには、体制(人, モノ, カネ)を整備し、正しく保存・保管することが前提条件である。</li> <li>・修理や維持管理のための組織がきちんと機能する必要がある。</li> <li>・市の天然記念物であるハッチョウトンボやトウキョウサンショウウオの保全のため、企業と連携した、外来種等を駆除するための人的支援や、罨等の物資を購入するための金銭支援が必要である。</li> </ul>

